

FUKUOKA



# ふくきたネットワーク

福岡北九州高速道路の概要



福岡北九州高速道路公社  
令和3年(2021年)7月

KITAKYUSHU



## 基本理念

福岡・北九州両都市圏における安全・円滑な都市高速道路ネットワークを運営することにより、都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献します。

## 経営理念 -基本理念を実現するための経営の基本方針-

### お客様第一

お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供します。

### 社会的責任

高い倫理観を持ち、都市高速道路の専門家集団としての総合力を発揮して、お客様や地域の皆様に信頼される組織を目指します。

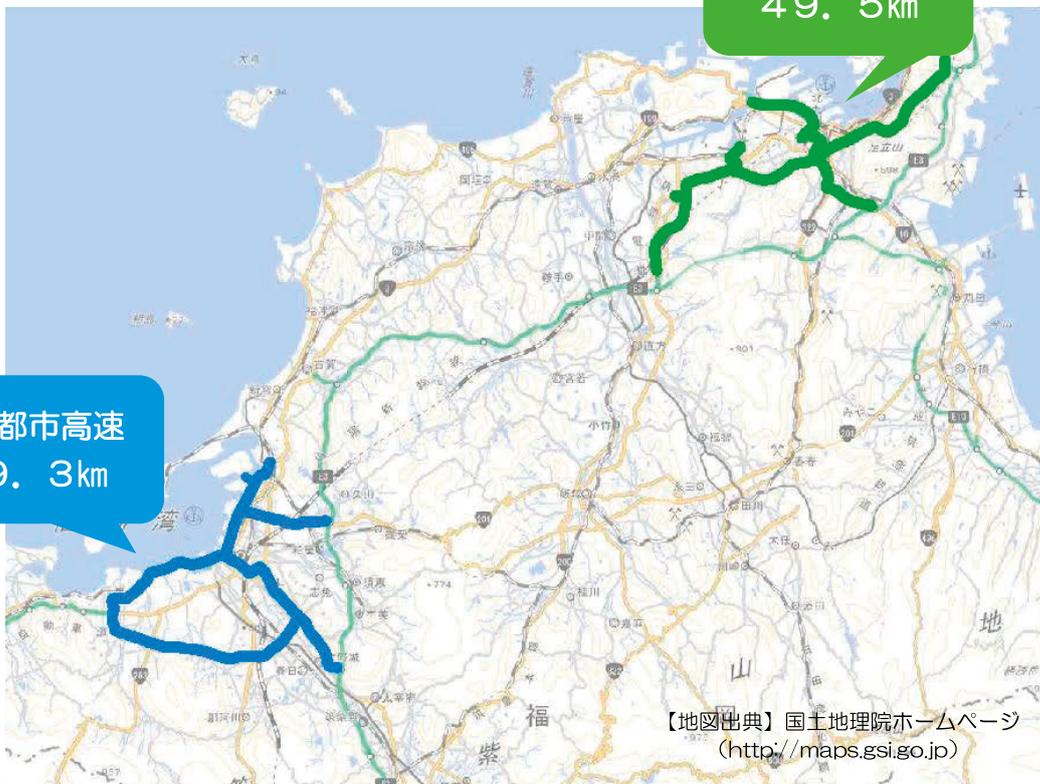
### 安定した経営

健全かつ効率的な経営により、将来にわたり良好な都市高速道路サービスを提供します。

公社の管理する2つの都市高速

北九州都市高速  
49.5km

福岡都市高速  
59.3km



(表紙写真) 福岡高速 アイランドシティ線 (アイランドシティ入口付近)  
北九州高速 5号線 (スペースワールド駅付近)

# 公社プロフィール

福岡と北九州の都市高速道路は、お客様の豊かな未来に貢献するため、道路の保全・交通管制・交通パトロールなどによる安全・安心・円滑な道路サービスを提供しています。

## ◆ 設立年月日

昭和46年（1971年）11月1日  
福岡県、福岡市、北九州市により設立  
（地方道路公社法第8条）

## ◆ 所在地

本社・福岡事務所  
福岡市東区東浜2丁目7番53号  
北九州事務所  
北九州市小倉北区東篠崎3丁目1番1号

## ◆ 業務

福岡都市圏及び北九州都市圏の交通体系の根幹となるネットワークを形成する指定都市高速道路の新設又は改築等（道路整備特別措置法第12条第1項）  
(1) 都市高速道路の新設、改築、維持管理  
(2) 都市高速道路と密接な関連のある道路の建設、管理  
(3) 高架下の管理

## ◆ 営業延長

108.8km	福岡高速	59.3km
	北九州高速	49.5km

## ◆ 料金収入（令和2年度）

508.1億円/年	福岡	359.0億円/年
	北九州	149.1億円/年
1.39億円/日	福岡	0.98億円/日
	北九州	0.40億円/日

## ◆ 通行台数（令和2年度）

8,514万台/年	福岡	5,745万台/年
	北九州	2,768万台/年
23.3万台/日	福岡	157,410台/日
	北九州	75,843台/日

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

## ◆ 役員・職員数

177名　うち常勤役員　5名（令和3年7月1日現在）

## 目次

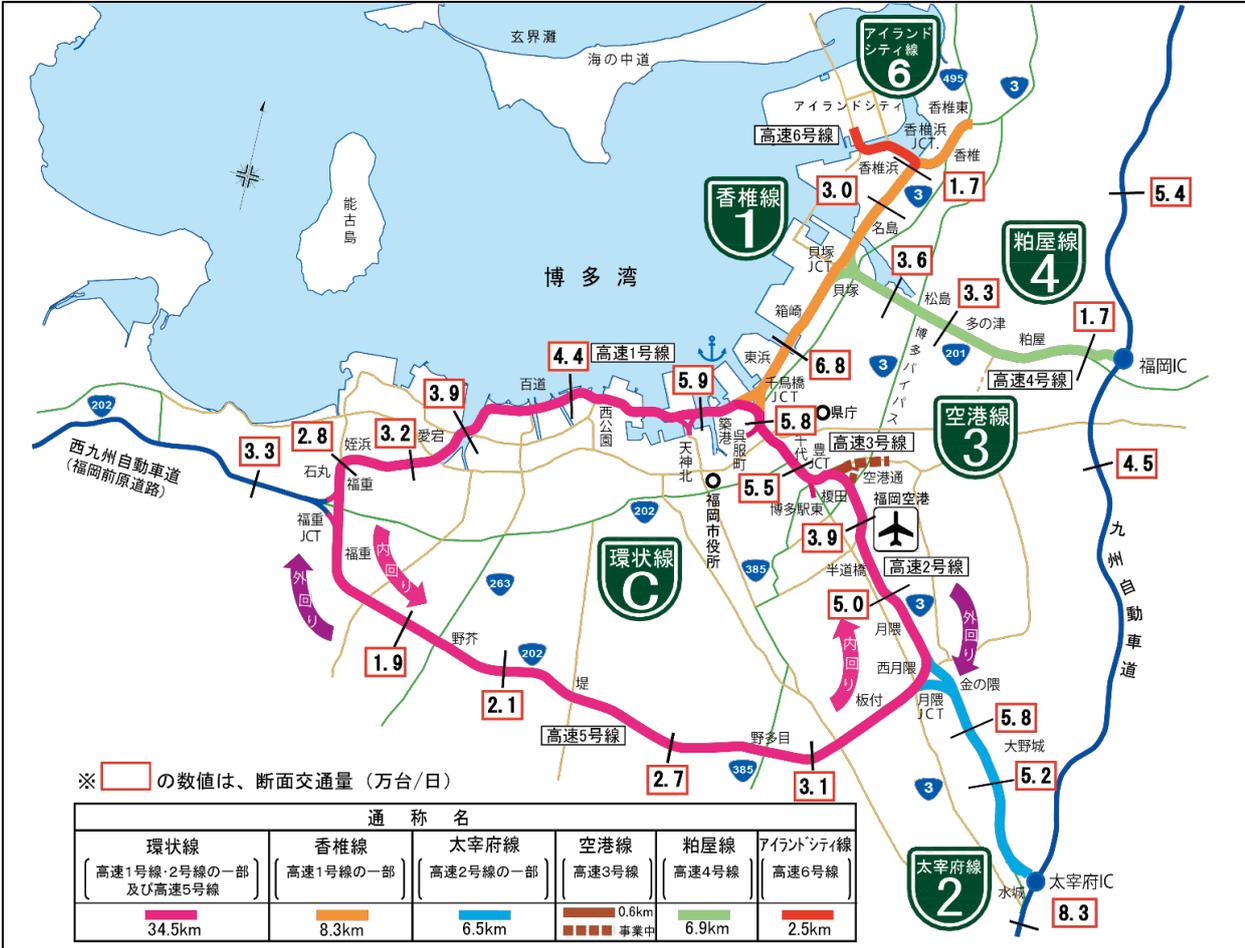
公社プロフィール	1
<b>1 福岡高速道路・北九州高速道路とは</b>	
1) 福岡高速道路	2
2) 北九州高速道路	4
<b>2 ネットワーク機能の強化</b>	
1) 福岡高速のネットワーク	6
2) 北九州高速のネットワーク	8
<b>3 安全・快適なサービスの提供</b>	
1) 事故・渋滞対策	9
2) 交通情報提供サービス	11
3) お客様の利便性向上	12
<b>4 安心のための維持管理</b>	
1) メンテナンスサイクル （点検・診断・措置・記録）の取組	14
2) 維持管理の日常的な取組	14
3) 構造物の老朽化対策	15
<b>5 危機管理</b>	
1) 平成30年7月豪雨の 被災と復旧	17
2) 大規模災害への備え	18
3) 新型コロナウイルス感染症 への対応	19
<b>6 信頼される事業運営</b>	
1) 料金収入・通行台数 ・供用延長の推移	20
2) 高架下駐車場	21
3) 年度別収支の状況 （令和2年度）	22
4) 資金の調達と借入れ状況	24
5) 令和3年度予算	26
6) 役員・組織	26
7) 主な経緯 （計画路線・償還期間・主な供用・その他）	27

# 1 福岡高速道路・北九州高速道路とは

## 1) 福岡高速道路

### 路線図・交通量

福岡高速の営業延長は 59.3km、事業中延長は 1.2km で、令和2年度の1日あたりの平均通行台数は 157,410 台となっています。



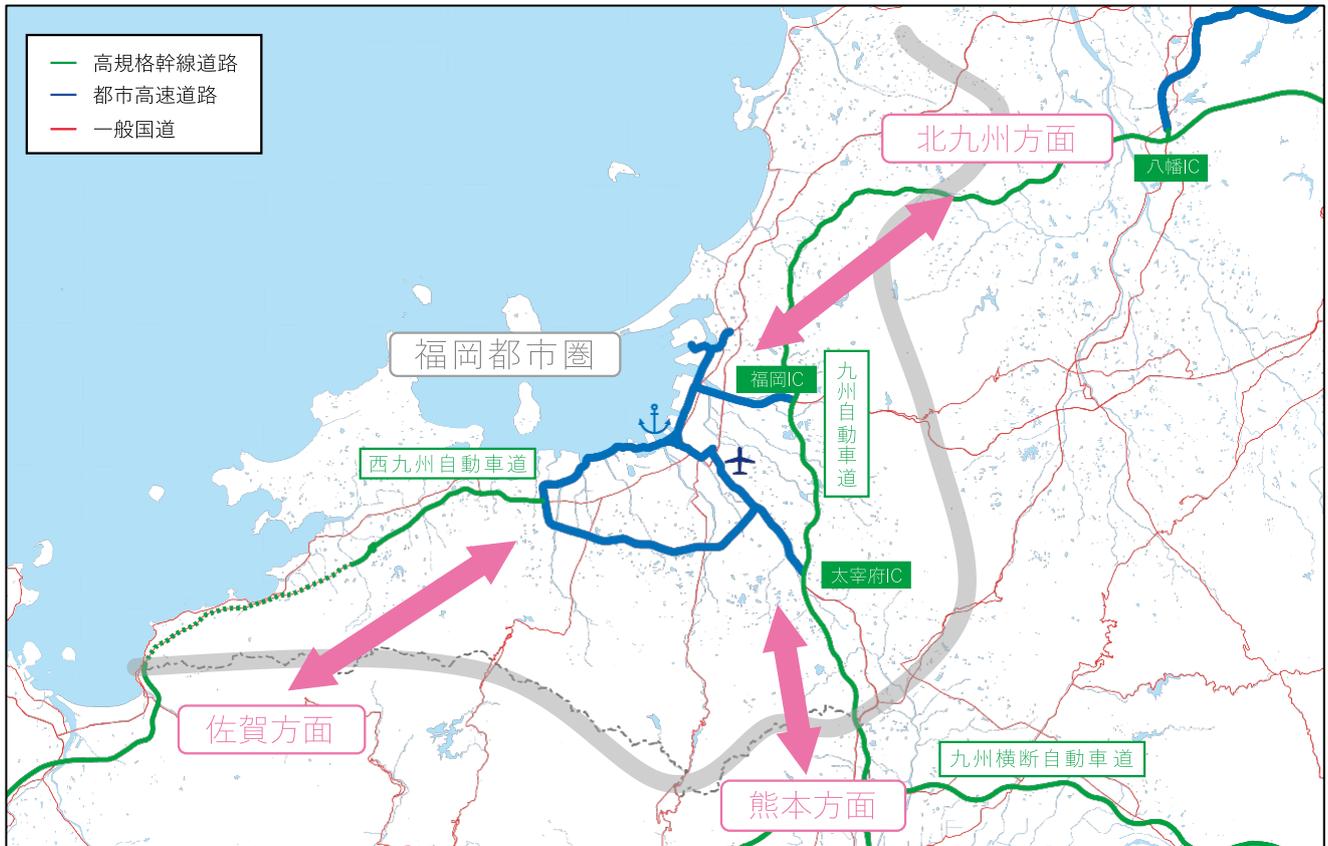
### 整備計画

区分	路線名	起点	終点	車線数	設計速度 (km/hr)	延長 (km)	事業費 (億円)	工期
福岡高速道路	福岡高速1号線	福岡市東区香住ヶ丘	福岡市西区福重	4・6	60	18.0	3,167	昭和46年度～平成23年度
	福岡高速2号線	福岡市博多区千代	太宰府市水城	4	60・80 (※)	13.2	2,153	昭和47年度～平成24年度
	福岡高速3号線	福岡市博多区東光	福岡市博多区大字下臼井	4	60	1.8	597	昭和48年度～令和12年度(予定)
	福岡高速4号線	福岡市東区箱崎心頭	福岡市東区蒲田	4	60	6.9	887	平成3年度～平成19年度
	福岡高速5号線	福岡市博多区西月隈	福岡市西区福重	4	80	18.1	2,375	平成10年度～平成24年度
	福岡高速6号線	福岡市東区香椎浜	福岡市東区みなと香椎	4	60	2.5	224	平成28年度～令和2年度
合計						60.5	9,403	

・事業費は一般管理費等を含む  
 (※) 80km/hr (金の隈～水城)、60km/hr (左記区間以外)  
 福岡高速4号線は 貝塚JCT付近～福岡IC付近に於いて、規制速度80km/hとして運用

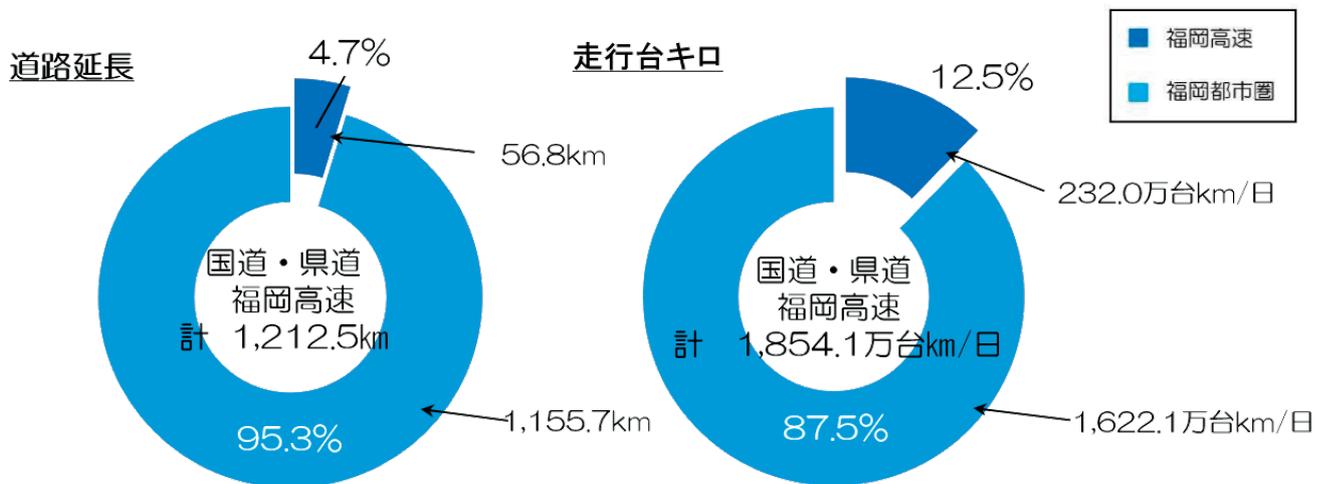
## 役割

福岡都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道や西九州自動車道と接続すること等により北九州方面や佐賀方面、熊本方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



### 福岡高速は一般道路の約3倍の交通を分担

福岡高速の道路延長は福岡都市圏全体の4.7%ですが、走行台キロは12.5%を占めています。福岡都市圏の一般道路における1kmあたりの走行台数と比べた場合、約3倍の交通を支えています。



(平成27年度道路交通センサスを基に算出)

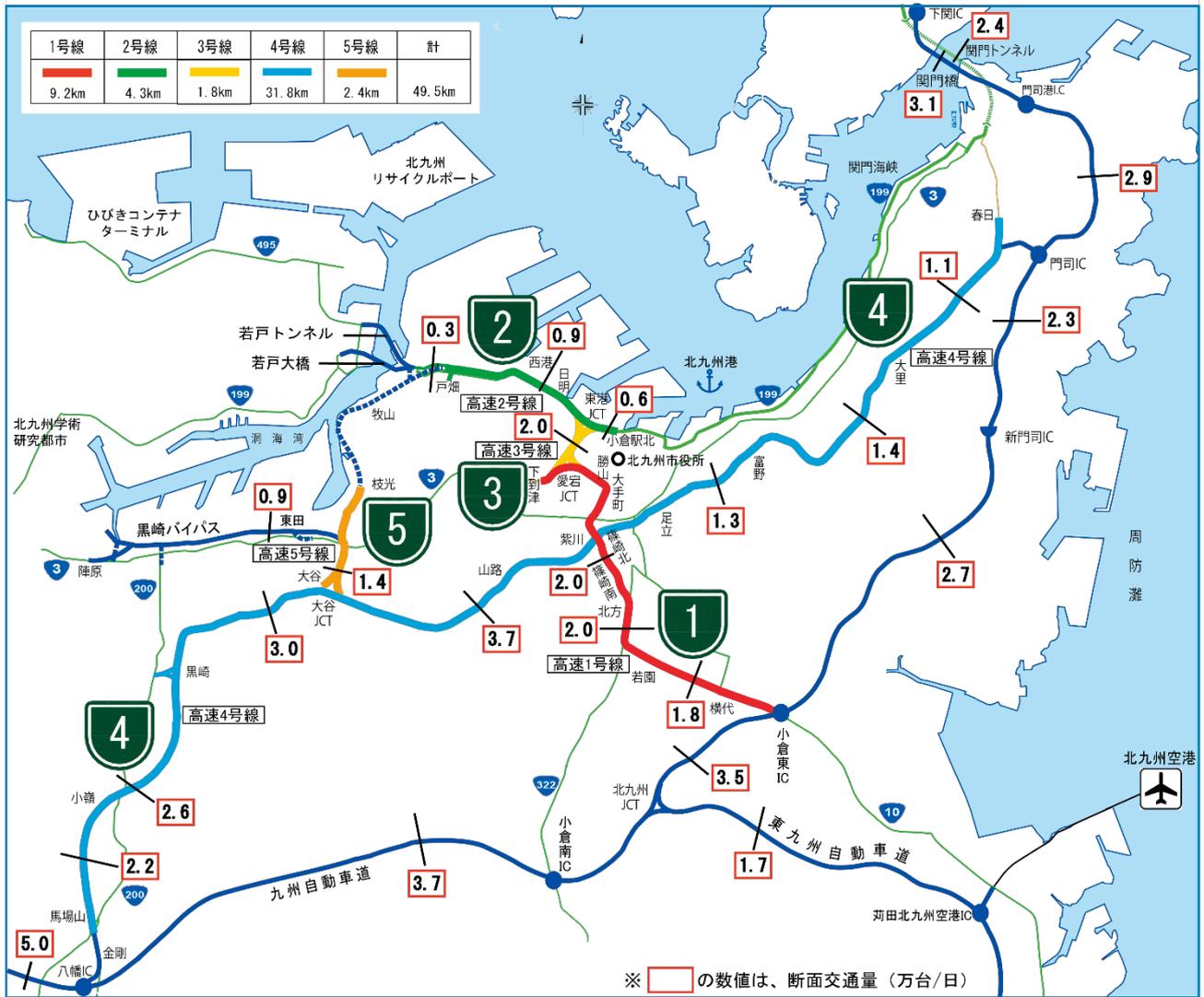
※福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町

※走行台キロとは1日の道路を通行する車両(往復)の交通量に道路延長を掛けた数値

## 2) 北九州高速道路

### 路線図・交通量

北九州高速の営業延長は49.5kmで、令和2年度の1日あたりの平均通行台数は75,843台となっています。



### 整備計画

区分	路線名	起点	終点	車線数	設計速度 (km/hr)	延長 (km)	事業費 (億円)	工期
北九州高速道路	北九州高速1号線	北九州市小倉南区長野	北九州市小倉北区下到尾津	4	60	9.2	1,078	昭和46年度 ~ 平成20年度
	北九州高速2号線	北九州市小倉北区許斐町	北九州市戸畑区大字戸畑	4	60	4.3	479	昭和47年度 ~ 平成20年度
	北九州高速3号線	北九州市小倉北区菜園場	北九州市小倉北区東港	6	60	1.8	202	昭和47年度 ~ 平成11年度
	北九州高速4号線	北九州市門司区春日町	北九州市八幡西区茶屋の原	4	60・80 (※)	31.8	1,291	平成2年度 ~ 平成20年度
	北九州高速5号線	北九州市八幡東区東田	北九州市八幡東区神山町	4	60	2.4	550	平成10年度 ~ 平成20年度
	合計					49.5	3,600	

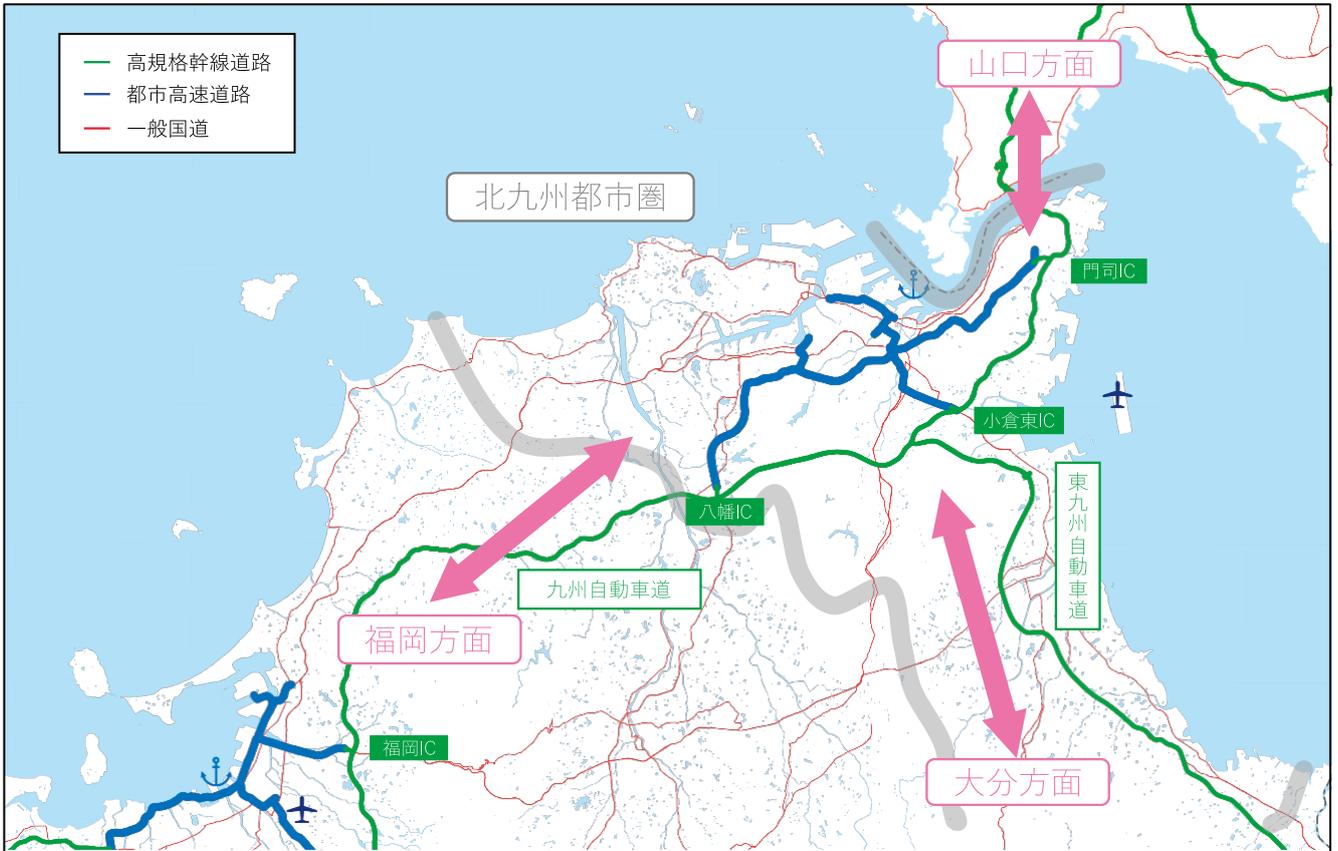
(※) 80km/hr (黒崎～馬場山)、60km/hr (左記区間以外)

・事業費は一般管理費等を含む

北九州高速4号線は、平成3年3月に日本道路公団（現NEXCO）から引き継いだ路線です。

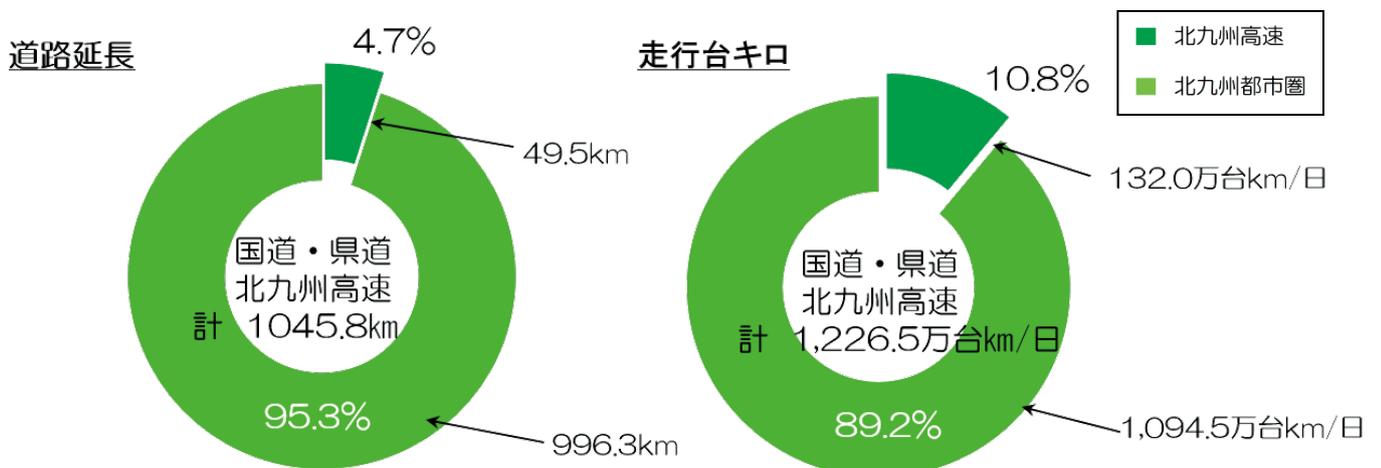
## 役割

北九州都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道と接続すること等により福岡方面や大分方面、山口方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



### 北九州高速は一般道路の約 2 倍の交通を分担

北九州高速の道路延長は北九州都市圏全体の 4.7% ですが、走行台キロは 10.8% を占めています。北九州都市圏の一般道路における 1km あたりの走行台数と比べた場合、約 2 倍の交通を支えています。



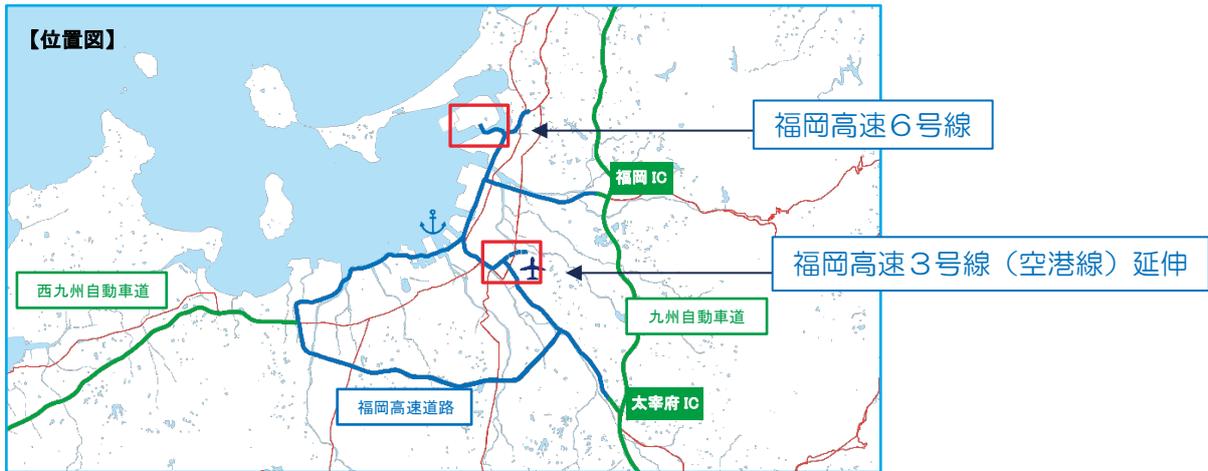
(平成 27 年度道路交通センサスを基に算出)

※北九州都市圏：北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、築上町

※走行台キロとは 1 日の道路を通行する車両(往復)の交通量に道路延長を掛けた数値

## 2 ネットワーク機能の強化

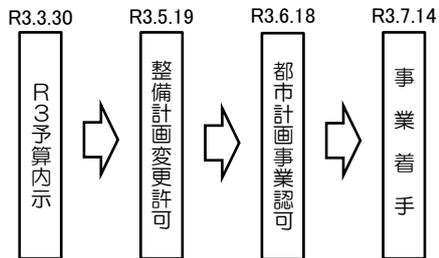
### 1) 福岡高速のネットワーク



### 福岡高速3号線（空港線）延伸

福岡空港の滑走路増設などの機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府 IC 方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の混雑緩和を図ります。

令和3年度は事業着手し、関係機関、関係者と十分な連携及び協議を行い、早期完成を目指していきます。



事業着手までの主な手続き流れ



▲位置図



▲計画平面図



## 福岡高速6号線

福岡市東部地域の交通混雑緩和や、アイランドシティ地区国際海上コンテナターミナル、福岡市立こども病院、青果市場などの広域的な交通需要に対応するため、福岡高速1号線とアイランドシティを結ぶ延長約2.5kmの自動車専用道路を整備し、令和3年3月27日に開通しました。



テープカット・くす玉開披



通り初め



香椎浜 JCT.

### ■開通後の整備効果（1か月速報）

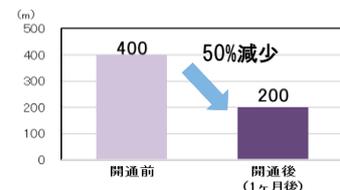
アイランドシティ出入口の交通量は約8,200台/日で、香椎浜出入口の交通がアイランドシティ出入口へ一部転換し、両出入口を合わせた交通量は28%増加しました。また片男佐橋交差点で、渋滞長が400mから200mに50%減少するなど、一般道の渋滞緩和に寄与しています。



アイランドシティ出入口及び香椎浜出入口の交通量 ※1



片男佐橋交差点渋滞長 ※2



開通前

開通後1か月

※1 トラフィックカウンター値  
開通前: R3 3月の全日平均 開通後: R3 4月の全日平均

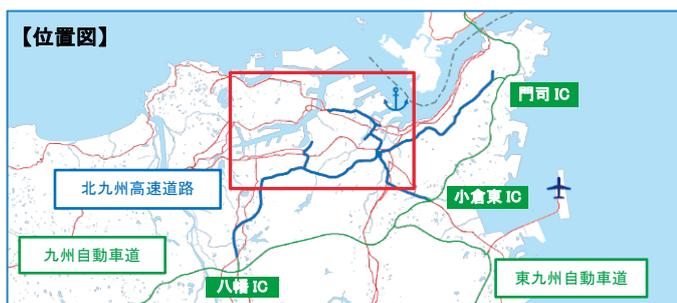
※2 開通前: R3 3 3 (水)、開通後: R3 4 27 (火)  
アイランドシティ側から片男佐橋交差点

## 2) 北九州高速のネットワーク

### 北九州都市圏の自動車専用道路ネットワークの整備状況

都市基盤と国際物流ネットワーク機能の強化を図るため、北九州高速道路に繋がる自動車専用道路網の整備が着実に進められています。

黒崎バイパスとの接続により、北九州西部及び遠賀・宗像方面の利便性が大きく向上しました。



【位置図】

国道3号黒崎バイパス線

事業主体: 国土交通省  
事業着手: 平成3年度より

戸畑枝光線

事業主体: 北九州市  
事業着手: 平成23年度より



### 3 安全・快適なサービスの提供

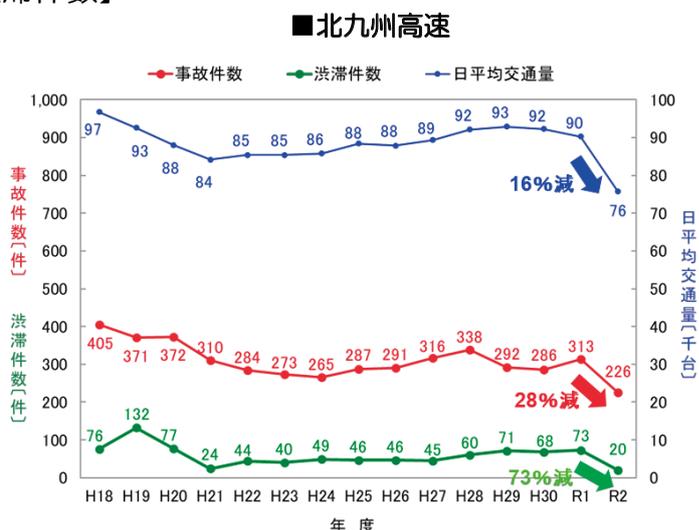
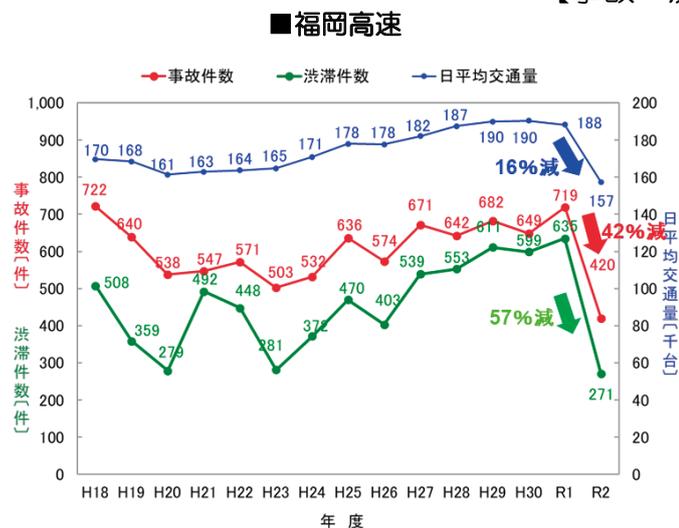
#### 1) 事故・渋滞対策

##### 事故・渋滞件数の推移

事故及び渋滞の減少に向け、これまで、道路ネットワークの構築や安全対策を行ってきました。

今後も引き続き、事故及び渋滞対策に取り組んでまいります。

##### 【事故・渋滞件数】



※1) 渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

#### 事故・渋滞対策の主な取組

##### ■事故対策：福岡高速 環状線（百道 ⇄ 姪浜）

##### 【対策背景】

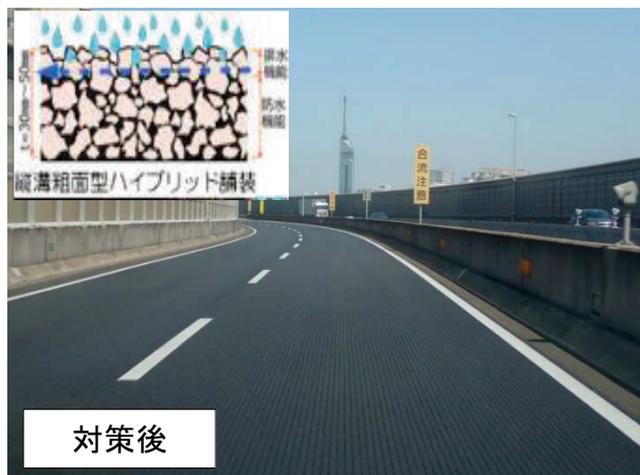
カーブ区間で、路面湿潤時に速度超過等による事故が多発

##### 【対策内容】

滑り止め機能が高く、排水性機能を有する、ハイブリッド舗装に更新  
 令和元年度 下り線 令和2年度 上り線

##### 【効果検証】

令和元年度施工区間 42件/年(H31.1~R1.12)⇒1件/年(R2.1~R2.12)  
 令和2年度施工区間 経過観察中(R3.4~)



## 重大事故（逆走）に対する取組

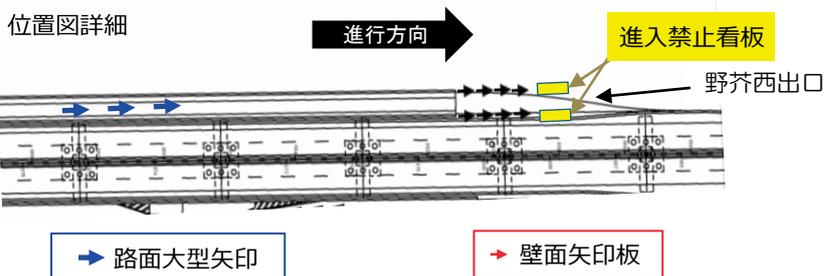
### ■逆走対策：福岡高速・北九州高速 全出口

【対策背景】 これまでも逆走対策に取り組んできたところですが、令和2年3月に北九州高速で発生した逆走による死亡事故が発生

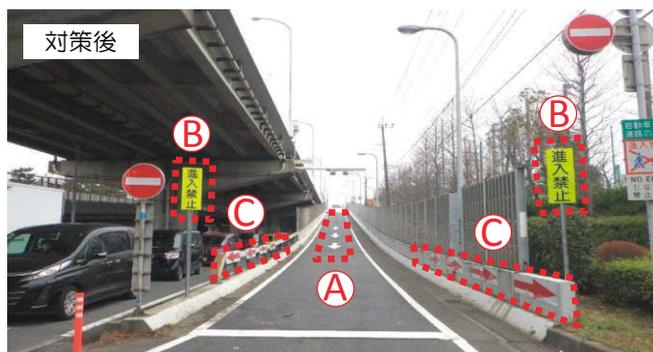
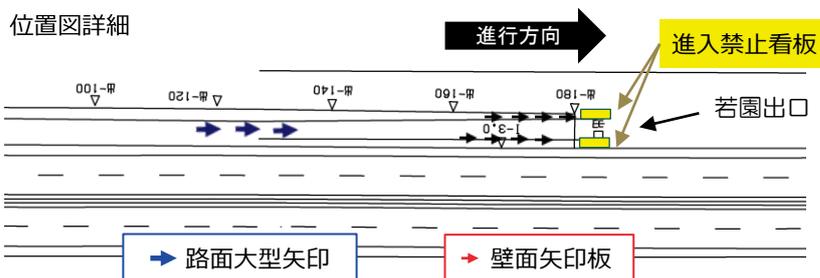
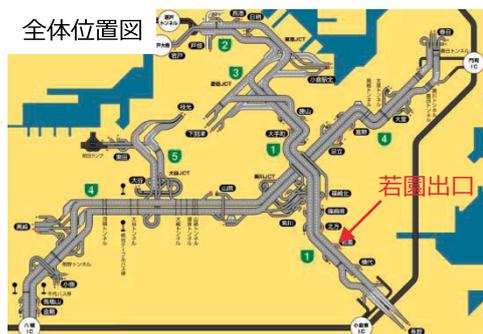
【対策内容】 令和2年度に両高速の全出口で逆走対策を完了（福岡38箇所、北九州35箇所）  
 ①大型矢印路面標示の設置  
 ②進入禁止看板の設置  
 ③壁面矢印板の設置

【継続対策】 両高速の合流部・JCT部において逆走対策を進めます

#### 福岡高速 施工事例：環状線内回り-野芥西出口



#### 北九州高速 施工事例：1号線上り-若園出口



## 2) 交通情報提供サービス

### 交通管制

交通管制室では、交通監視カメラや非常電話などにより異常事態の有無、道路状況、気象状況などの情報を収集し、情報板やVICS※などによりお客様に情報提供しております。

また、異常事態発生時には、パトロールカーを現場に急行させ、事態の処理に関して適切な措置をとるよう指示するとともに、必要に応じて消防車、救急車などの出動要請などを行っています。



交通管制室

※VICS：Vehicle Information and Communication Systemの略称

渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に文字・図形で表示する情報通信システムのことをいう。

### 交通パトロール

都市高速道路を定期または臨時に巡回し、事故や故障車の有無などの交通の状況、落下物や道路損傷の有無などの道路の状況、気象状況などの情報を収集しています。

また、異常事態が発生した場合は現場に急行し警察とともに事故への対応、落下物の排除、故障車などへの対応を行い、さらに台風や大雨、積雪、凍結、地震時には交通規制を行っています。



落下物処理

(参考-令和2年度実績)

落下物対応 : 約7,900件

故障車対応 : 約1,500件

事故対応等 : 約 600件

### 情報収集・情報提供機能

高速道路上に設置された各種センサからの検知結果を集計し、発生している交通状況及び気象状況を収集しています。

また、道路情報板、VICSなど様々な提供媒体を通して、利用者に一元化した情報提供を行っています。

#### 【情報収集機能】



本線車両感知器



非常電話



監視用テレビカメラ



気象観測装置

#### 【情報提供機能】



入口情報板

### 3) お客様の利便性向上

#### 都市高速をより分かりやすくするための便利ツール

##### ◆イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速をより便利で身近な道路として活用していただくため、出入口や料金のご案内、通行できる車両の基準などの注意事項等を掲載したイラスト地図「スイスイマップ」を作成、配布しています。

##### 主な設置箇所

- 都市高速のすべての料金所
- 都市高速周辺の大型商業施設
- 関係庁舎
- 主要観光施設及び観光案内所
- 自動車販売店及び自動車関連商品販売店
- レンタカー会社
- 自動車学校
- 道の駅
- SA（サービスエリア）、PA（パーキングエリア）など

※詳しい設置箇所は、ホームページで確認できます。（「都市高速ガイド」>「都市高速道路スイスイマップ」>「スイスイマップの設置場所」）



##### ◆LINE

工事による規制やイベント情報など、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供しています。



##### ◆「ハイウェイテレホン」

- 通行止や渋滞、平均所要時間などの道路状況をお電話及びホームページ等にてご案内いたします。
- 道路情報は約5分ごとに更新されます。

##### 聞く！

音声にてご案内しています。

福岡ハイウェイテレホン（自動音声） ☎092-643-1300  
北九州ハイウェイテレホン（自動音声） ☎093-931-1400

##### 見る！

ホームページサイトやスマートフォンサイトにてご案内しています。

- ホームページサイトはこちらから  
「道路交通情報」>「見る！ハイウェイテレホン」>「福岡・北九州都市高速」



- 情報料は無料ですが、別途通信費がかかります。
- 運転中のスマートフォンのご利用は法律で禁止されています。

## お客様からのご意見に対応した取組

より利用しやすい都市高速を目指し、お客様から頂いたご意見・ご要望をもとに、サービス向上に向けた取組を行っています。

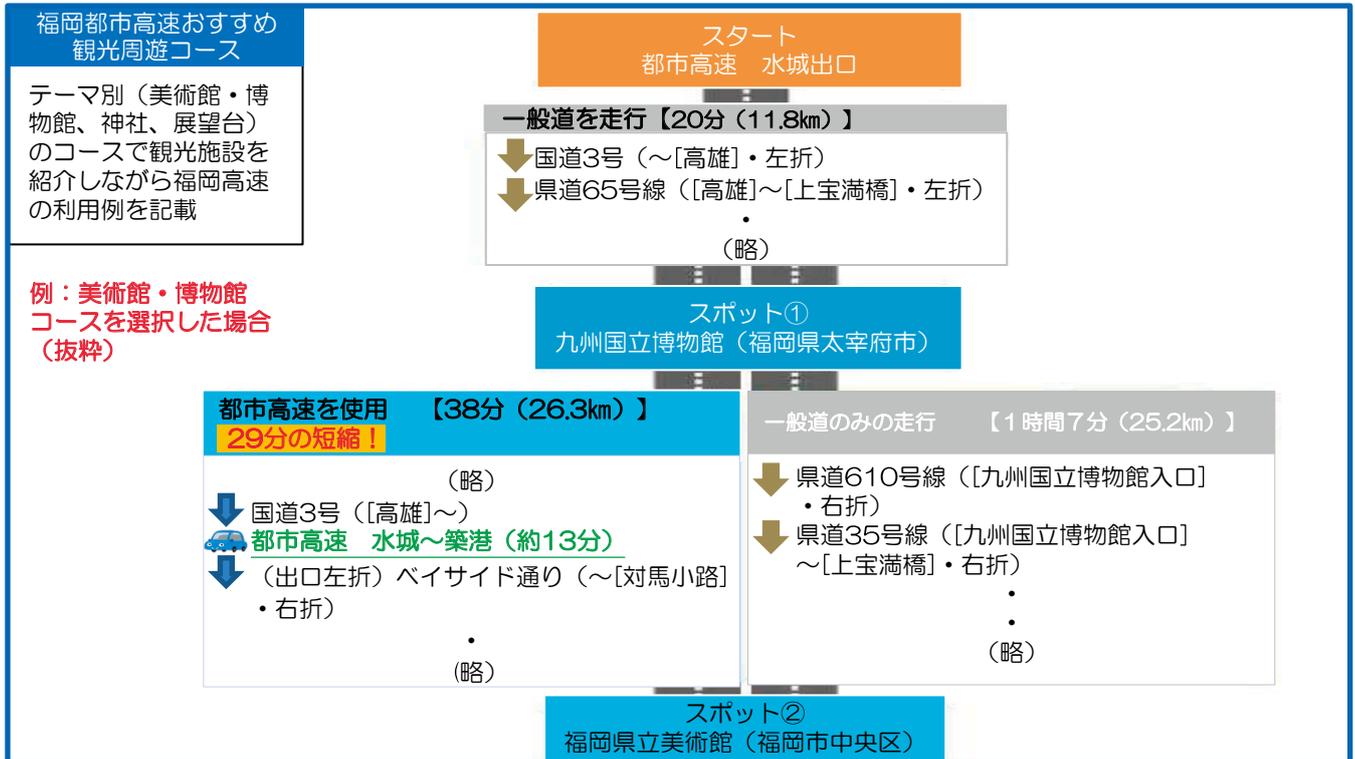
お客様のご意見

都市高速の出入口付近の観光案内をしてほしい。  
時間短縮が見込めれば利用してみたい。

### ◆改善事例

出入口付近の観光案内

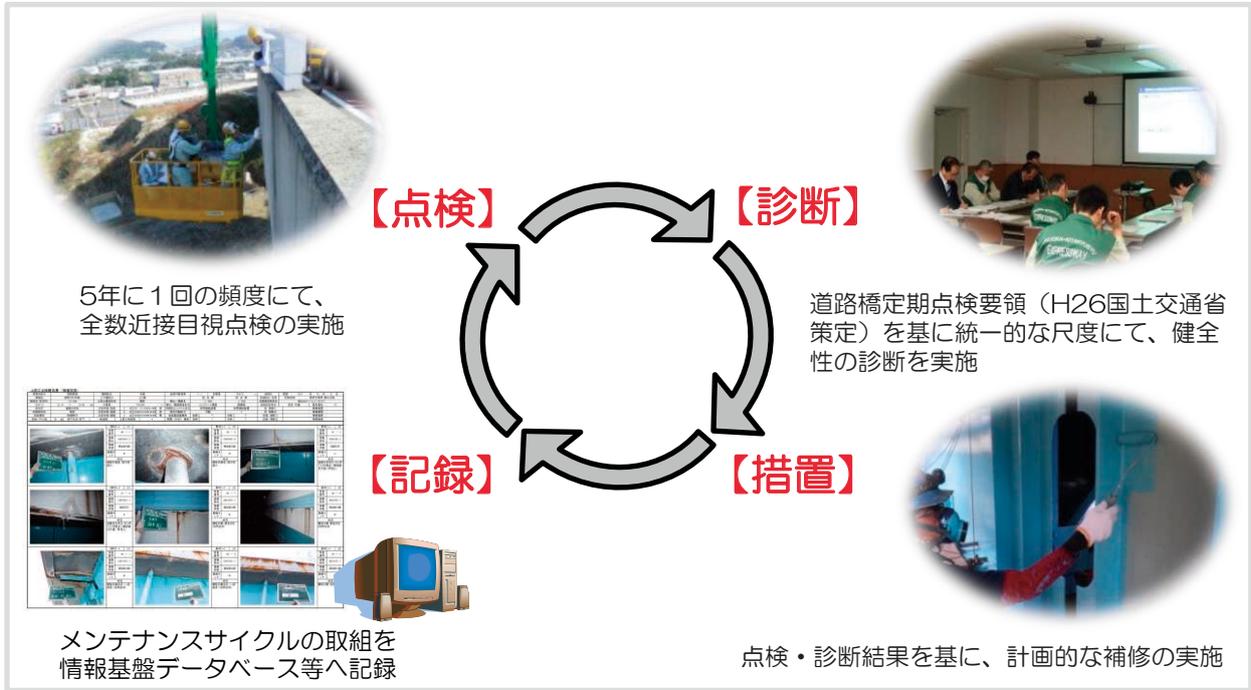
公社HP（観光情報）で都市高速を活用していろいろな観光施設を巡るモデルコースと所要時間などを掲載しました。



## 4 安心のための維持管理

### 1) メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の取組

都市高速道路の安全かつ円滑な交通を保持するためには、道路を常に良好な状態に保つ必要があります。このため、平成29年度に策定したインフラ長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の取組を確実に実施しながら、各種構造物・施設の適切な維持管理を行っています。



### 2) 維持管理の日常的な取組

#### 緊急事象への対応

路面の損傷や交通事故による施設の損傷、落下物の回収をはじめとする高速道路上でのあらゆる緊急事象に対し24時間365日体制で臨んでいます。



事故対応



緊急補修対応

#### 道路清掃・樹木管理

全線にわたる路面清掃や草刈等の樹木管理を定期的に行っています。

#### 積雪・凍結への対応

路面凍結による事故を未然に防ぐため、状況により凍結防止剤の散布を行います。また、積雪による通行止めの場合、除雪して早期開放に努めます。



路面清掃



草刈



除雪作業



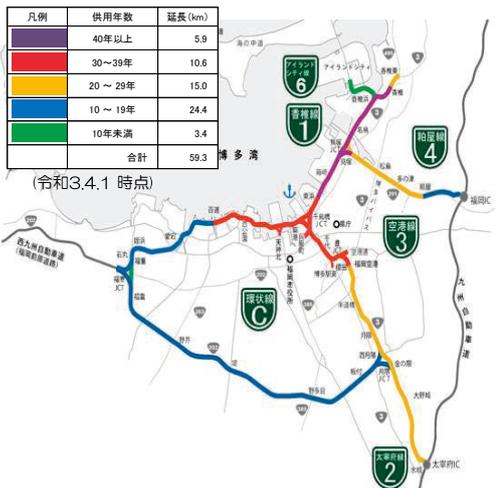
### 3) 構造物の老朽化対策

#### 福岡高速の取組み

路線延長の約3割が供用から30年以上経過したことや、交通量の増加に伴い、橋梁などの老朽化が進んでいます。

このため、平成24年度から老朽化・予防保全事業を実施しています。

最初に供用し、老朽化が進んでいる1号線（香椎～東浜）から鋭意工事を進めており、令和2年度から著しい損傷が確認された2号線（榎田～水城）にも着手しています。



#### 老朽化・予防保全事業

- 対象路線：福岡高速1～5号線
- 事業期間：平成24年度～令和13年度の20年間
- 対策事例：剥離・鉄筋露出部の断面修復、ひび割れの補修、床版防水、炭素繊維シート貼付、鋼桁の塗装塗替等

#### 老朽化の状況写真



#### 福岡高速1号線（香椎～東浜）



【工種】 橋梁補修工事

【上部工】 【損傷の特徴】 交通荷重による床版の疲労



#### 福岡高速2号線（榎田～水城）

(著しい損傷の事例)



【舗装撤去前】  
〈舗装の損傷〉

【舗装撤去後】  
〈コンクリート床版の土砂化〉

(コンクリート床版下面のひび割れ)

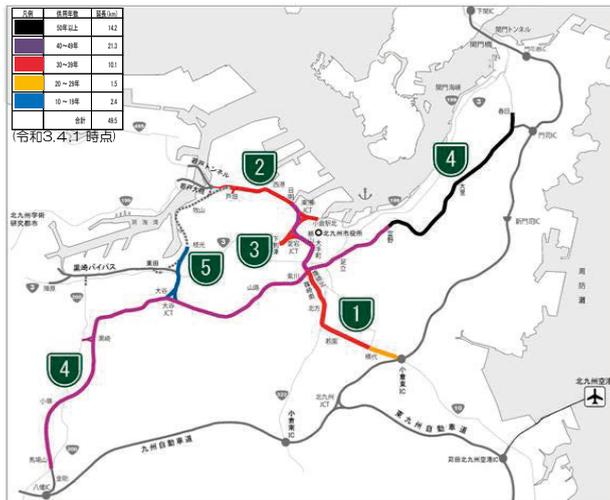


## 北九州高速の老朽化対策の必要性

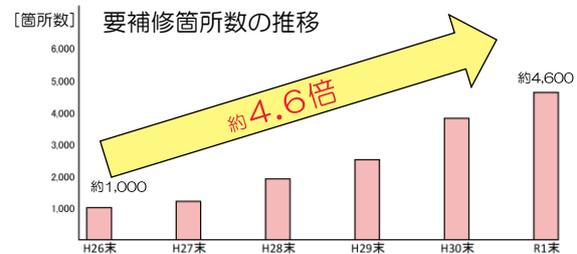
平成15年度～20年度に、当時供用から30～50年以上経過した4号線を対象に大規模修繕事業を実施しました。

しかし、その後10年以上が経過し、路線延長の約9割が供用から30年以上経過するとともに、4号線においても新たな疲労損傷が生じるなど、橋梁等の老朽化が進んでいます。

限られた予算の中で優先順位を付けながら、応急的な維持補修を実施しているものの、要補修箇所数が増加の傾向にあります。



### 老朽化の状況写真



平成30年度に「北九州高速道路の大規模修繕等に関する技術検討委員会」より、「橋梁の大規模修繕等の必要性」について提言をいただきました。

この提言や地方道路公社の償還期間の改正等を踏まえ、大規模修繕事業等の早期着手に向け、財源確保等について国や設立団体と協議を進めています。

### 委員会からの提言（平成31年3月14日）

- ◆ 将来にわたって構造物の耐久性や健全性を確保するためには、大規模修繕事業が必要と判断される
- ◆ 大規模修繕事業の実施にあたっては、路線の特徴や構造物の損傷状況を踏まえ、最適な時期に最適な工法を選択し、維持管理コストの縮減を図ること
- ◆ 大規模修繕事業と併せて耐震補強事業に取り組み、仮設足場の共用等によって効率的で経済的な事業推進を図ること

### 委員会構成メンバー

委員長	松田 泰治	(九州大学 大学院教授)
副委員長	山口 栄輝	(九州工業大学 大学院教授)
副委員長	添田 政司	(福岡大学 大学院教授)
委員	2名	
アドバイザー	2名	

### 【参考】地方道路公社の償還期間の上限の延長

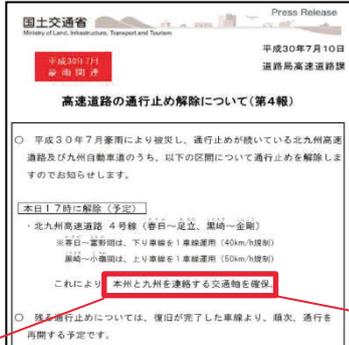
国において、道路整備特別措置法等に基づく「有料道路整備資金貸付要領」が改正（令和2年4月1日施行）  
償還期間の上限：40年以内 ⇒ 60年以内

# 5 危機管理

## 1) 平成30年7月豪雨の被災と復旧（北九州高速）

### 被災状況と復旧

豪雨による被災により、北九州高速道路及び九州自動車道が通行止めとなりました。即座に応急復旧に着手し、関係機関等の応援もいただき、被災から5日目に全線開放を行うことで、本州と九州を連絡する交通軸を確保しました。



国交省記者発表資料（H30.7.10）より

### 応急復旧

被災後、即座に応急復旧に着手し、関係機関等の応援もいただき、被災から5日目に全線開通を行いました。



関係機関等からの情報を集約し対策方針を協議



災害協定に基づく支援  
企業からの応援



昼夜を問わない復旧作業

### 本復旧の完了

本復旧は、国の補助事業に採択され、令和2年3月に完了しました。



土砂撤去工  
（奥田地区）



法面保護工  
（富野地区）



法面保護工  
（大里地区）



## 2) 大規模災害への備え

大規模災害発生時に、復旧対応を迅速化するため、関係機関と協定を締結しています。  
平成30年7月豪雨を踏まえて、令和元年度、新たに九地整、及び民間三団体と協定を締結し、災害対応力を強化しました。

### 災害時に備えた協定

#### 大規模な災害時の相互応援に関する協定（九地整）

目的：資機材及び職員の相互応援【令和元年7月5日締結】  
○国土交通省九州地方整備局

#### 震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定（都市高速5団体）

目的：災害時の人材・資機材の相互協力【平成24年3月7日締結】  
○首都高速道路株式会社      ○阪神高速道路株式会社  
○名古屋高速道路公社      ○広島高速道路公社  
○福岡北九州高速道路公社

大規模災害時に都市高速を管理する5団体が応急復旧業務を円滑に行うために相互に協力する目的で協定を締結しています。（被災状況や通行止め状況などの）情報交換や応急工事などの協力要請について定めています。



#### 災害時における応急対策に関する協定（民間7団体）

目的：災害時の都市高速の復旧に資する協定  
【平成18年3月1日締結】      【令和元年6月19日締結】  
○日本建設業連合会（土木一般）      ○建設コンサルタンツ協会（測量設計）  
○日本橋梁建設協会（鋼構造物）      ○福岡県地質調査業協会（地質調査）  
○PC建設業協会（PC構造物）      ○福岡県建設業協会（土木一般）  
○日本道路建設業協会（舗装等）

### 災害時に備えた計画

危機（災害等）において事業運営に伴う様々な課題に対して被害の最小化が図られ、できるだけ短時間で事業の再開を行うため、危機（災害等）の対策や迅速かつ的確な対応を明らかにすることを目的として事業継続計画（BCP）を策定しています。  
この計画に基づく訓練として、令和2年度は、緊急車両等が通行可能となる段差解消資機材を用いた道路啓開訓練を公社として初めて実施しました。

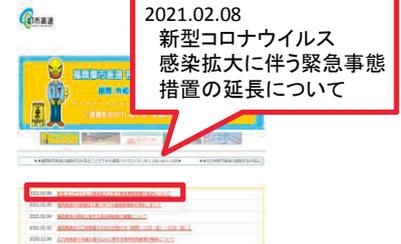


### 3) 新型コロナウイルス感染症への対応

公社では、都市高速が担う物流、緊急輸送ルート等の機能を確保しつつ、お客様、関係先の皆様及び公社職員の感染リスクの軽減を図るため、様々な対策を実施しています。

#### お客様への呼びかけ

- 入口や本線の道路情報板での注意喚起文の掲示
- 北九州高速パーキングエリアでのポスター掲示
- 公社ホームページでの福岡県等からの注意喚起文の掲載



#### 料金收受業務

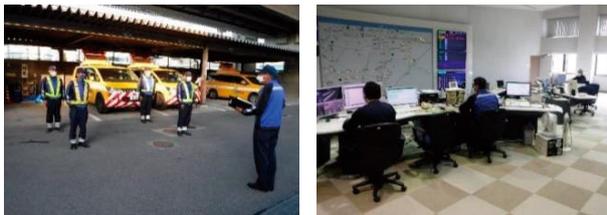
- マスク着用、トレーによる料金收受
- 精算機器類、手指の定期的な消毒
- 収受班における小グループ化

※朝礼、アルコール検査、移動、精算作業等を小グループに分けて実施。万が一感染者が発生した場合でも、接触者の最小化を図ることで、収受業務への影響を回避しています。



#### 交通管制業務

- 巡回班における小グループ化
- 管制室での隊員同士の距離の確保
- 巡回車、管制機器類等の定期的な消毒



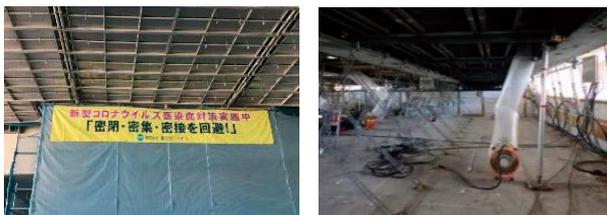
#### 維持補修工事・業務

- 始業前の検温等の体調管理
- 朝礼時の距離確保、作業時のマスク着用
- 作業車両、使用器具等の定期的な消毒



#### 建設・保全工事

- 現場での「三密の回避」の徹底
- 送風機での現場の換気
- 「工事現場の遠隔臨場」の制度試行導入



#### 公社職員

- テレワークPCによる在宅勤務、時差出勤、WEB会議システムの活用
- 会議室、受付等での飛沫防止パネル設置



# 6 信頼される事業運営

## 1) 料金収入・通行台数・供用延長の推移

### 福岡高速道路

令和2年度

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、交通量は前年度比16.4%、収入は前年度比15.5%減少しました。

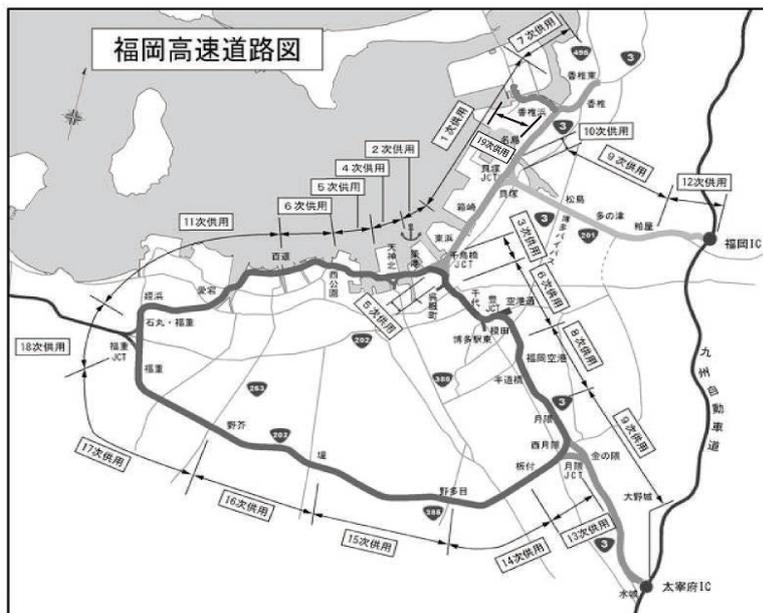
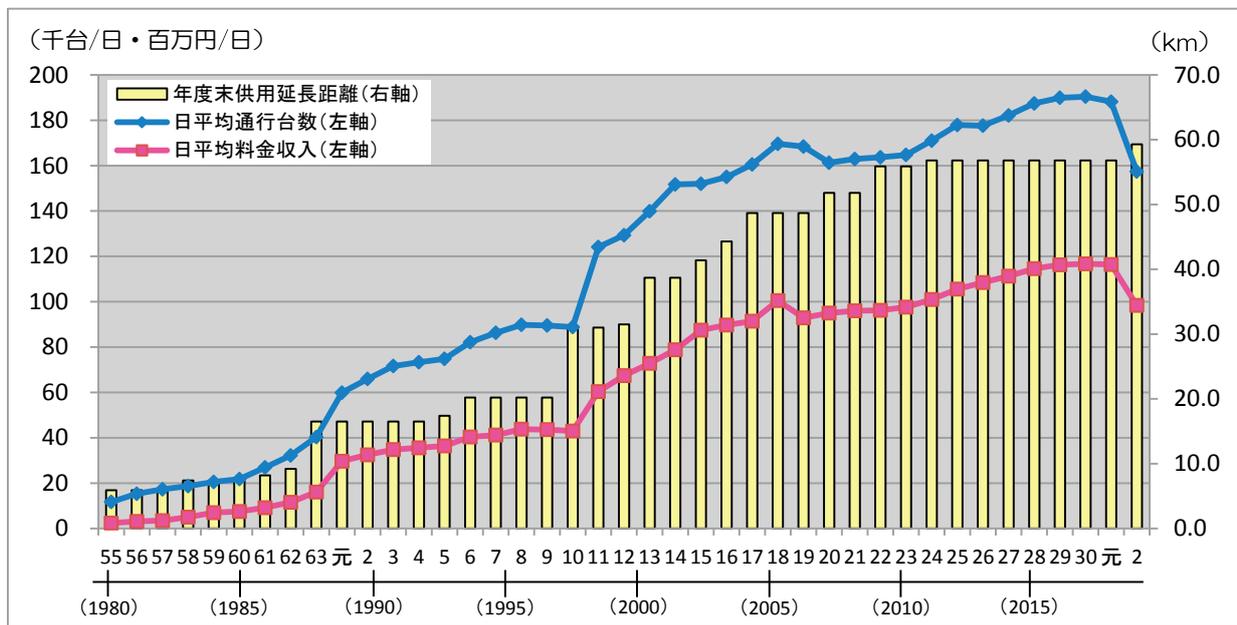
料金収入 359.1億円/年

日平均料金収入 0.98億円/日

日平均通行台数 157,410台/日

供用延長距離			
令和3年3月末現在 59.3km			
料金			
普通車	630円	大型車	1,260円

E T Cの利用率 88.6% (R3.3月)  
(対前年同月比 +0.1P)



供用延長・料金の推移				
供用区分	供用年月日 料金改定日※	供用延長 (km)	料金(円)	
			普通車	大型車
1次供用	S55.10.20	ア 5.9	200	400
2次供用	S58.10.6	イ 7.4		
3次供用	S61.4.23	ウ 8.2	350	700
4次供用	S62.11.6	イ 9.2		
5次供用	S63.10.31	ウ 11.3	400	800
6次供用	H 1.3.4	イ 16.5	500	1,000
	H 1.10.1	エ		
7次供用	H 5.4.2	ウ 17.4	510	1,030
8次供用	H 6.4.4	ウ 20.2		
9次供用	H11.3.27	ウ 31.0	550	1,100
	H12.3.28	エ		
10次供用	H12.11.21	ウ 31.5	600	1,200
11次供用	H13.10.13	ウ 36.8		
12次供用	H14.3.10	ウ 38.7		
13次供用	H15.5.1	ア 41.4		
14次供用	H16.6.27	ウ 44.3		
15次供用	H18.3.26	ウ 48.7		
16次供用	H20.4.19	ウ 51.8		
17次供用	H23.2.26	ウ 55.9		
18次供用	H24.7.21	ウ 56.8	620	1,230
	H26.4.1	エ		
	R 1.10.1	エ		
19次供用	R3.3.27	ウ 59.3	630	1,260

※ ア: 供用+同日料金改定、イ: 供用+翌日料金改定  
ウ: 供用のみ、エ: 料金改定のみ

## 北九州高速道路

令和2年度

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、交通量は前年度比16.0%、収入は前年度比14.6%減少しました。

料金収入 149.1億円/年

日平均料金収入 0.41億円/日

日平均通行台数 75,843台/日

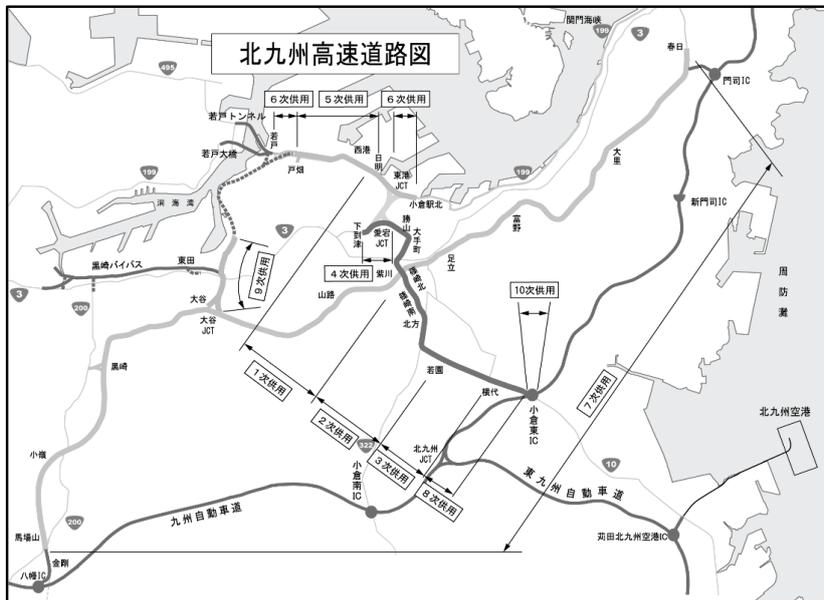
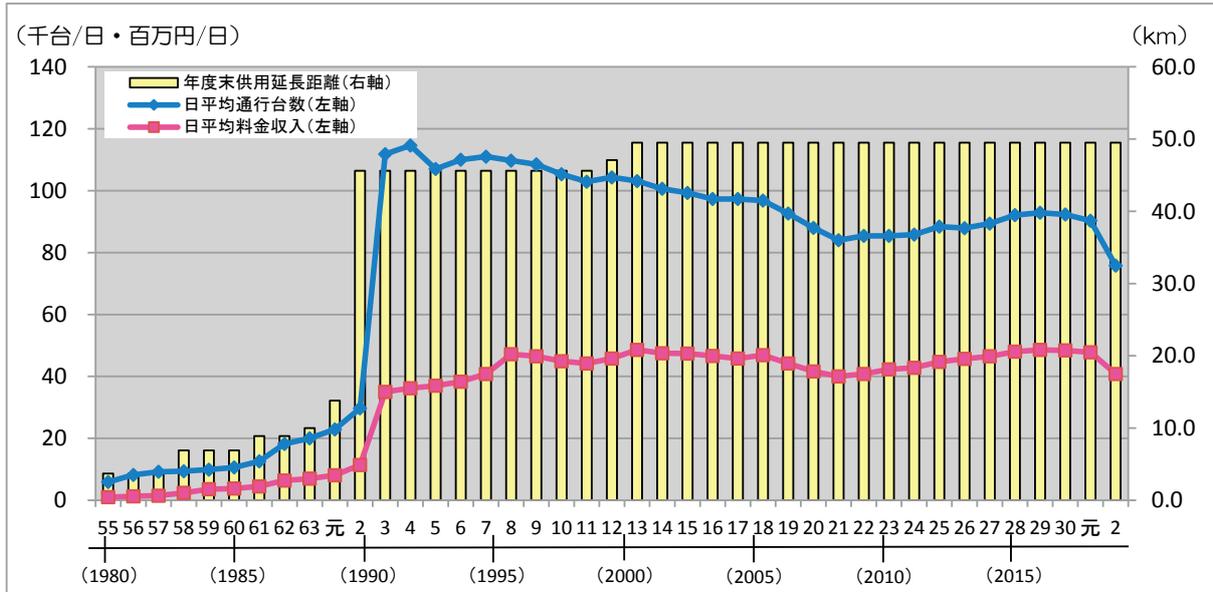
供用延長距離

令和3年3月末現在 49.5km

料 金

普通車 520円 大型車 1,050円

E T Cの利用率 85.4% (R3.3月)  
(対前年同月比 +0.7P)



供用延長・料金の推移				
供用区分	供用年月日 料金改定日※1	供用延長 (km)	料金(円)	
			普通車	大型車
1次供用	S55.10.20	ア 3.7	150	300
2次供用	S58.10.6	イ 6.9	350	700
3次供用	S61.12.2	ウ 8.9		
4次供用	S63.12.17	エ 10.0		
5次供用	H 1. 8.30	イ 12.8	360 ※2	720 ※2
6次供用	H 2. 3.31	ウ 13.8		
7次供用	H 3. 3.31	ア 45.6	450	900
	H 5. 4. 1	エ		
8次供用	H 7. 9.30	イ 47.1	500	1,000
	H12. 7.26	ウ		
10次供用	H12.11. 1	エ	510	1,030
	H13. 7. 2	ウ		
	H18. 2.26	エ		
	R 1.10. 1	エ	520	1,050

※1 ア: 供用+同日料金改定、イ: 供用+翌日料金改定

ウ: 供用のみ、エ: 料金改定のみ

※2 H3.3.31からH5.3.31まで、4号線は距離別料金。

## 2) 高架下駐車場

福岡高速道路及び北九州高速道路の高架下の有効利用として駐車場の運営管理を行っています。

区分	施設数	契約台数	料金収入(百万円)
福岡 駐車場	35	約1,300台	112
北九州 駐車場	46	約1,000台	108
計	81	約2,300台	220

\* 施設数及び契約台数は令和3年4月1日現在

\* 料金収入は令和2年度実績

### 3) 年度別収支の状況 (令和2年度)

#### 損益計算書の概要

(単位：億円)

	収 益			費 用					償還準備金繰入
	業務収入	業務外収益	計	道路管理費	一般管理費	業務外費用	損失補填引当金	計	
福岡・北九州高速道路	512.0	1.2	513.2	146.5	13.9	35.9	23.1	219.4	293.8
福岡高速道路	362.0	0.7	362.7	100.0	8.7	21.5	16.3	146.6	216.1
北九州高速道路	150.0	0.5	150.5	46.5	5.2	14.4	6.8	72.9	77.6

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

#### 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。  
 <根拠法令等> 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

#### 有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

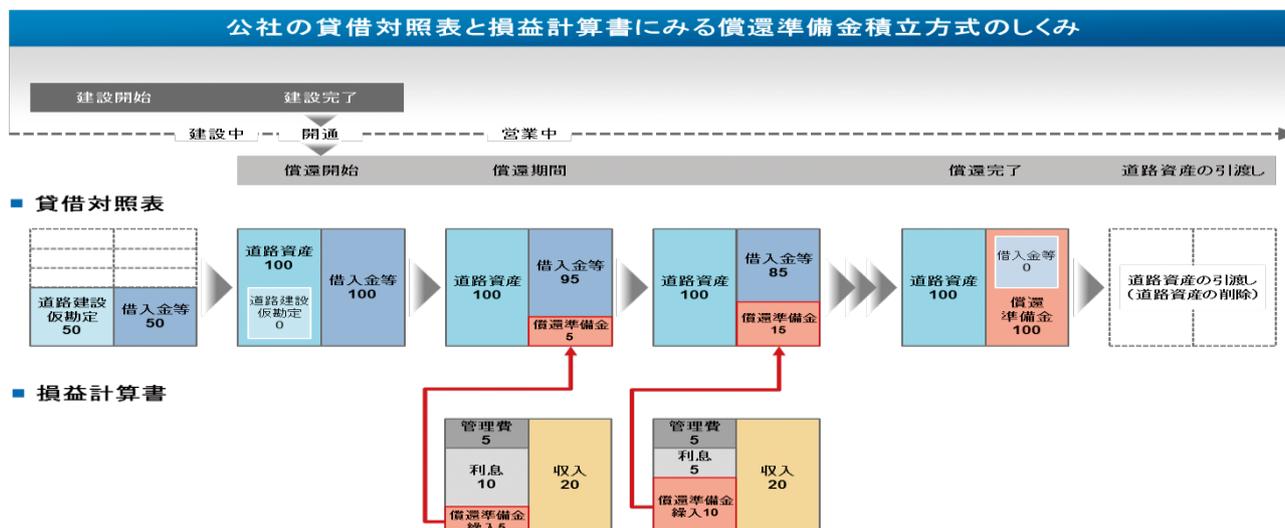
#### 借入金の償還状況を適切に把握するために

- 公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度では、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、『道路資産』においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

#### 償還準備金積立方式を採用

- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と、借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

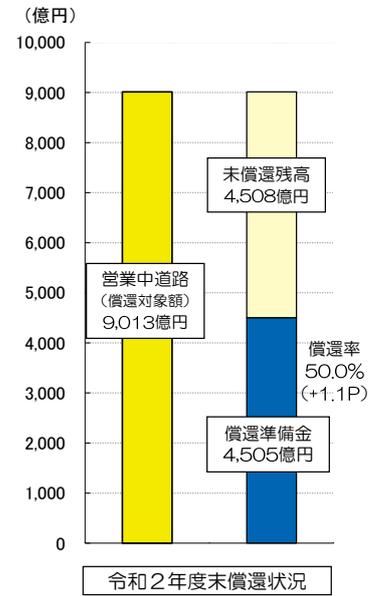
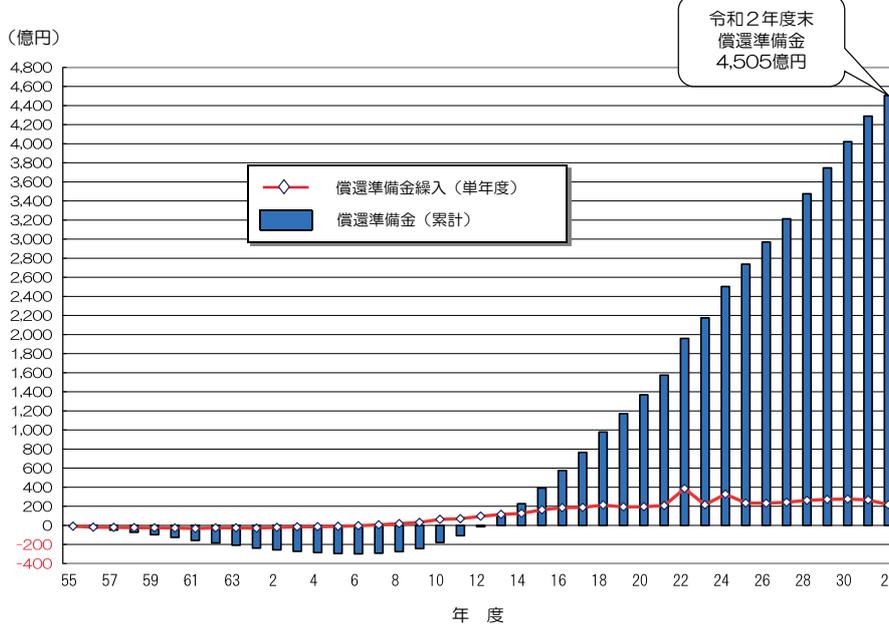
#### 償還準備金積立方式のしくみ



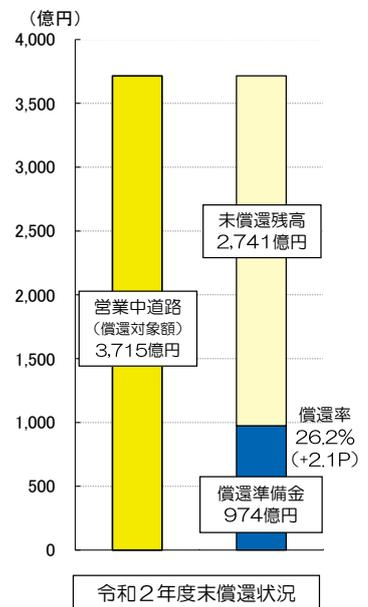
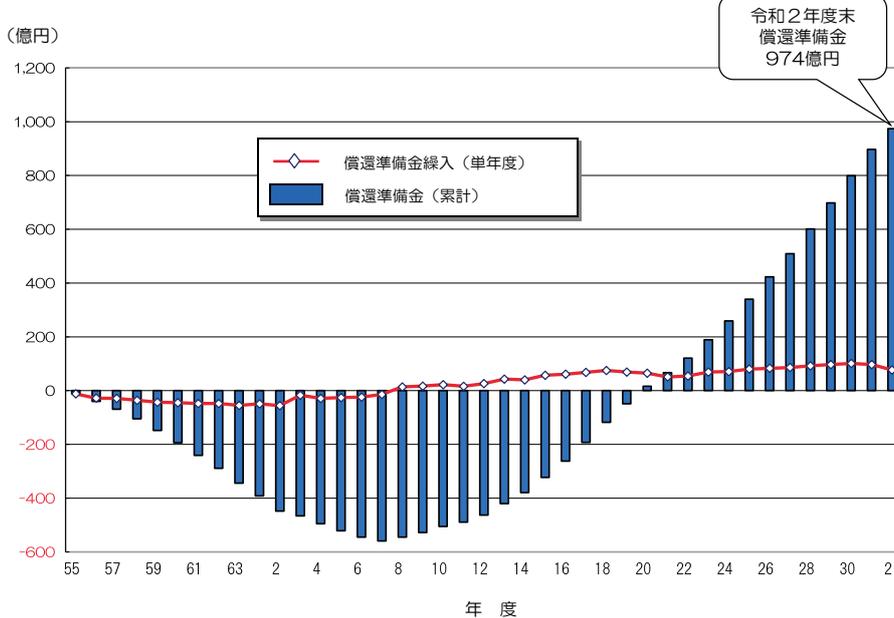
## 償還準備金の推移

- 令和2事業年度決算では、福岡高速、北九州高速ともに新型コロナウイルス感染症の影響による料金収入の減少があったものの、償還準備金繰入は確保
- 今後も着実に償還準備金積立を行う見通し

### 福岡高速道路



### 北九州高速道路

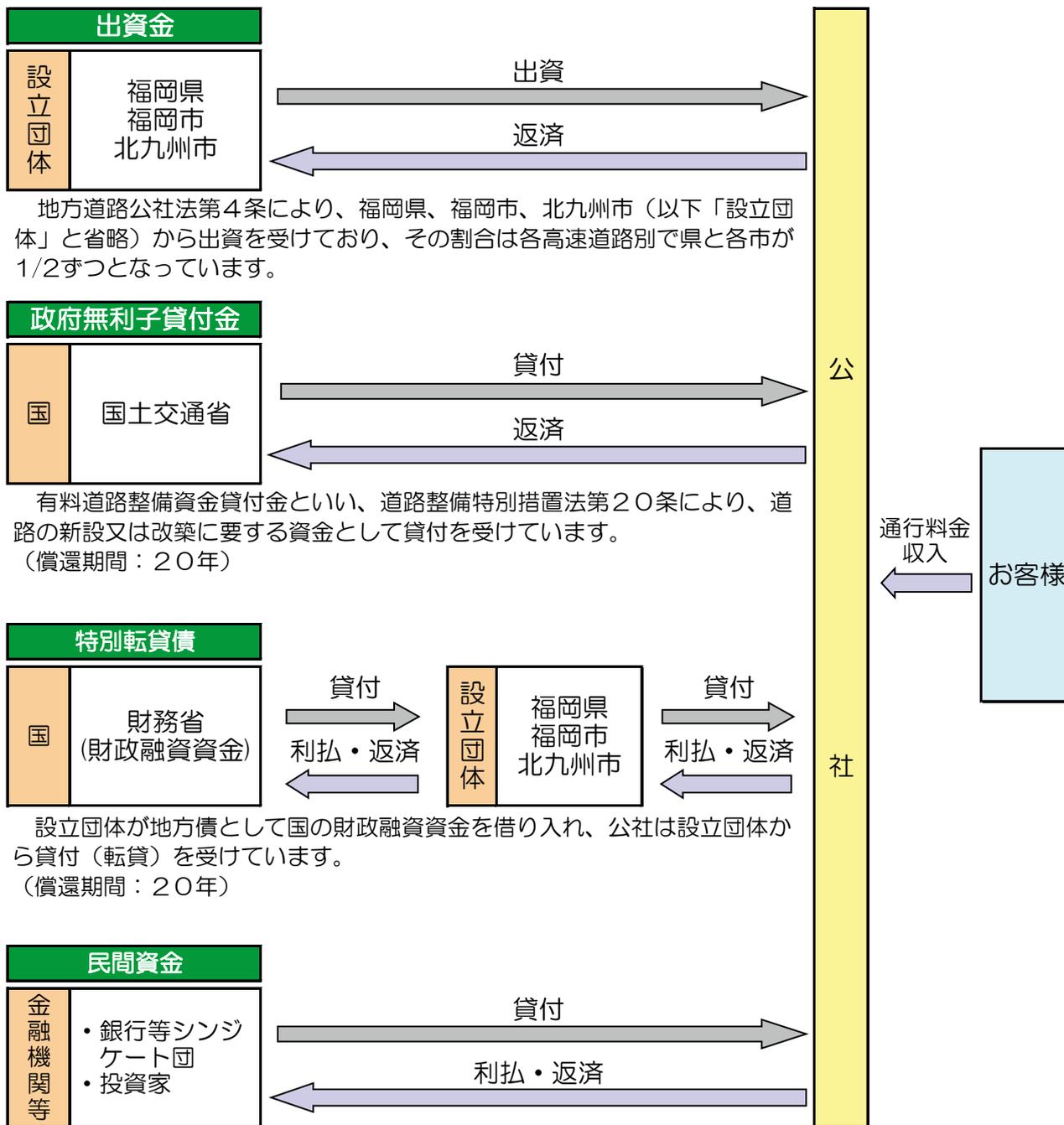


※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。  
 償還準備金繰入：収益から費用を差し引いた毎年度の収支差  
 償還準備金：償還準備金繰入の累計額  
 償還率：償還準備金÷営業中道路（償還対象額）

#### 4) 資金の調達と借入れ状況

##### 資金の構成と返済の流れ

高速道路の建設にかかる資金は、設立団体、国、金融機関等からの出資金や借入金等で調達し、これを通行料金収入で一定期間内に返済する制度となっています。



地方道路公社法第4条により、福岡県、福岡市、北九州市（以下「設立団体」と省略）から出資を受けており、その割合は各高速道路別で県と各市が1/2ずつとなっています。

有料道路整備資金貸付金といい、道路整備特別措置法第20条により、道路の新設又は改築に要する資金として貸付を受けています。  
(償還期間：20年)

設立団体が地方債として国の財政融資資金を借入れ、公社は設立団体から貸付（転貸）を受けています。  
(償還期間：20年)

公社債の発行や銀行からの貸付により資金を調達しています。  
調達する資金には、地方道路公社法第28条により、設立団体の債務保証が付されており、より一層信用力が高いものとなっています。  
(償還期間：5年、10年、15年、20年)

## 資金の借入れ状況

【全体】

(単位：億円)

	R1年度末 借入金残高 A	R2年度 借入額 B	R2年度 償還額 C	R2年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	2,237	10	0	2,246	32.4%
無利子貸付金	677	16	77	617	8.9%
小計(無利子)	2,914	26	77	2,863	41.3%
特別転貸債	484	23	122	385	5.5%
金融機構資金	33	0	10	23	0.3%
民間資金	3,694	210	236	3,668	52.9%
小計(有利子)	4,211	233	368	4,075	58.7%
合計	7,125	259	445	6,938	100.0%

【福岡高速道路】

(単位：億円)

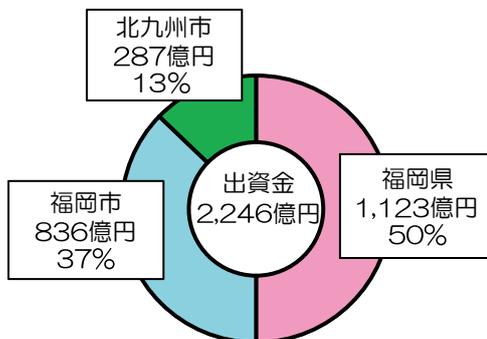
	R1年度末 借入金残高 A	R2年度 借入額 B	R2年度 償還額 C	R2年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	1,662	10	0	1,671	38.0%
無利子貸付金	320	16	62	274	6.2%
小計(無利子)	1,982	26	62	1,945	44.2%
特別転貸債	423	23	106	340	7.7%
金融機構資金	27	0	8	19	0.4%
民間資金	2,091	150	141	2,100	47.7%
小計(有利子)	2,541	173	255	2,459	55.8%
合計	4,522	199	317	4,404	100.0%

【北九州高速道路】

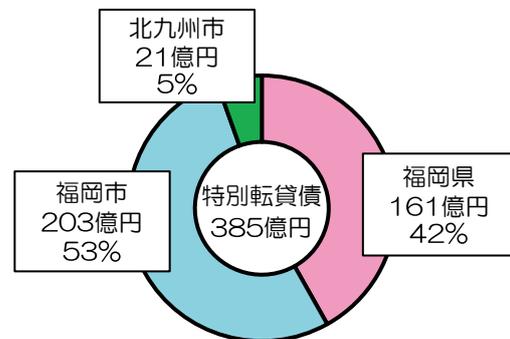
(単位：億円)

	R1年度末 借入金残高 A	R2年度 借入額 B	R2年度 償還額 C	R2年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	575	0	0	575	22.7%
無利子貸付金	358	0	15	343	13.5%
小計(無利子)	932	0	15	918	36.2%
特別転貸債	61	0	16	45	1.8%
金融機構資金	6	0	2	4	0.2%
民間資金	1,603	60	95	1,568	61.9%
小計(有利子)	1,670	60	114	1,617	63.8%
合計	2,603	60	128	2,534	100.0%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



出資金受入状況  
(令和2年度末)



特別転貸債借入残高  
(令和2年度末)

## 5) 令和3年度予算

(単位：億円)

事業区分	収 入			支 出				
	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計
建設事業	出資金	1	-	1	高速道路建設費	3	-	3
	無利子貸付金	2	-	2	一般管理費	4	-	4
	特別転貸債	2	-	2	支払利息	0	-	0
	高速道路債券	2	-	2				
	小 計	7	-	7	小 計	7	-	7
管理事業	高速道路料金収入	364	146	510	維持改良費(*1)	106	21	126
	駐車場料金収入	1	1	2	業務管理費(*2)	64	34	99
	原因者負担金受入	1	1	1	原因者負担補修費	1	1	1
	民間借入金	129	39	168	一般管理費	10	6	16
	業務外収入	1	1	1	業務外支出	314	126	440
					(内 元金償還金)	(293)	(112)	(405)
					(内 支払利息等)	(21)	(13)	(35)
小 計	495	187	682	小 計	495	187	682	
その他	受託業務収入等	0	0	1	受託業務費等	0	0	1
合計		502	188	690		502	188	690

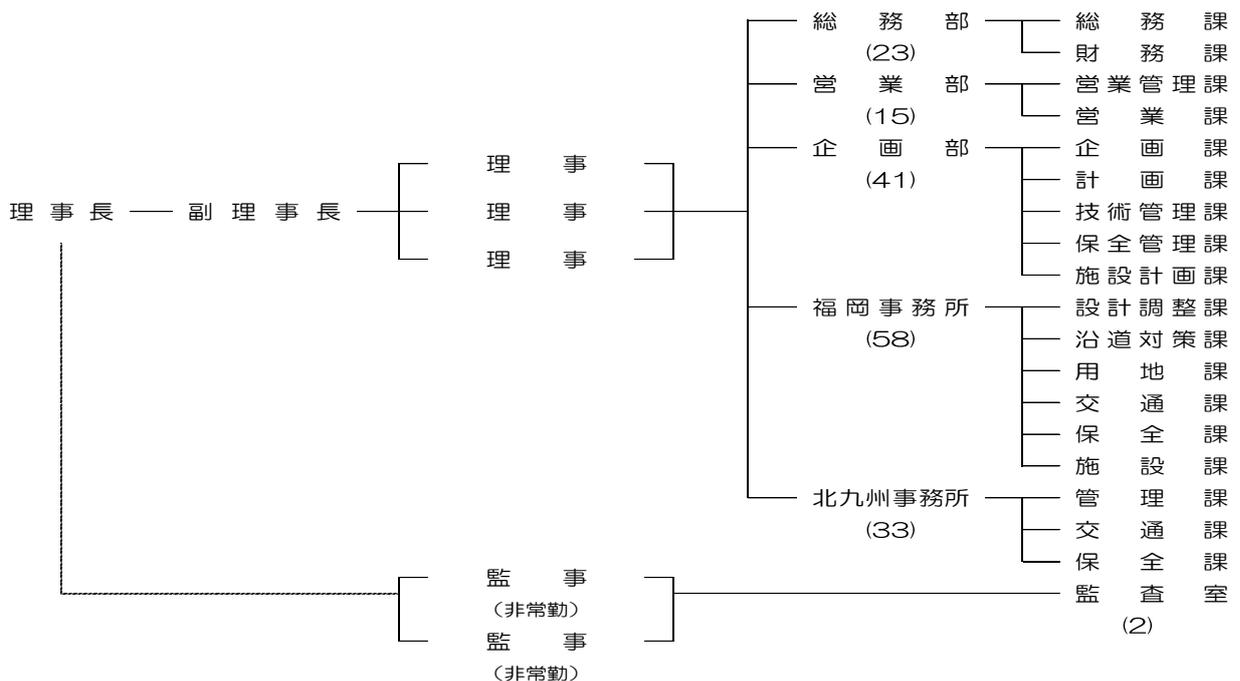
※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(\*1) 維持改良費：高速道路及び附属施設の維持補修・改良工事に要する経費

(\*2) 業務管理費：高速道路の料金收受業務や交通管理管制業務委託ほか管理に要する経費

## 6) 役員・組織

令和3年7月1日現在



\*この実数内で常任調査役、調査役を配置（上記への表示、略。)

7) 主な経緯（計画路線・償還期間・主な供用・その他）

[延長は、総延長を示す。]

年月		福岡高速	北九州高速
1971年 (昭和46年)	11月	福岡北九州高速道路公社設立	
1972年 (昭和47年)	3月	当初の計画【21.2km】の大臣許可	当初の計画【19.9km】の大臣許可
1980年 (昭和55年)	10月	都市高速の償還期間30年	
		最初の開通：香椎～東浜[5.9km]	最初の開通：篠崎北～日明[3.7km]
1987年 (昭和62年)	11月	天神北供用[延長9.2km]	
1989年 (平成元年)	3月	百道・榎田・空港通供用[延長16.5km]	
1990年 (平成2年)	7月		計画の延伸【45.6km】 ・4号線[31.8km]新規組入れ ・1号線[下到津～西本町：6.1km]削除
1991年 (平成3年)	3月		旧道路公園より北九州道路・北九州直方道路引継ぎ、4号線として春日～馬場山間供用[延長45.6km]
	10月	計画の延伸【28.6km】 ・1号線[福重：3.2km]、2号線[月隈：2km] ・3号線[見直し：-0.9km] ・4号線[3.1km]新規組入れ	
1997年 (平成9年)	12月		計画の延伸【47.1km】 ・1号線[長野：1.5km]
1998年 (平成10年)	2月	計画の延伸【38.7km】 ・2号線[水城：6.3km]、4号線[福岡IC：3.8km]	
	11月		計画の延伸【54.7km】 ・5号線[7.6km]新規組入れ
	12月	計画の延伸【56.8km】 ・5号線[18.1km]新規組入れ	
1999年 (平成11年)	3月	償還期間を30年から40年に延長 水城（太宰府IC接続）・粕屋供用[延長31.0km]	
2000年 (平成12年)	7月		償還期間を30年から40年に延長 長野供用[延長47.1km]
	7月		枝光供用[延長49.5km]
2001年 (平成13年)	10月	福重供用（西九州自動車道接続）[延長36.8km]	
	3月	福岡IC接続[延長38.7km]	
2002年 (平成14年)	12月		平成15年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『北九州高速の大規模補修に対する公的助成の拡充』
2003年 (平成15年)	5月	板付供用[延長41.4km]	
2004年 (平成16年)	3月		計画の見直し【49.5km】 ・大規模補修工事新規組入れ ・5号線[戸畑～枝光：5.2km]削除
2006年 (平成18年)	2月		償還期間を40年から50年に延長 [小倉東IC接続]
	4月	E T C運用開始	
2008年 (平成20年)	11月		E T C運用開始
2011年 (平成23年)	12月	平成24年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『福岡都市高速道路の老朽化・予防保全対策に対する償還期間の延長』	
2012年 (平成24年)	7月	償還期間を40年から47年に延長 5号線全通（環状化）[延長56.8km]	
2015年 (平成27年)	3月	福岡県・福岡市・公社の三者で、自動車専用道路アイランドシティ線及び福岡空港関連の自動車専用道路の整備を進めていくことについて合意	
2016年 (平成28年)	9月	計画の延伸【59.3km】 ・6号線[2.5km]新規組入れ	
2021年 (令和3年)	3月	6号線（アイランドシティ線）供用[延長59.3km]	
	5月	計画の延伸【60.5km】 ・3号線（空港線）[1.2km]	

お客様問い合わせ番号  
(平日/8:45~17:30)

福岡高速 092-631-0122  
北九州高速 093-922-6811

事故や災害など緊急連絡先

緊急ダイヤル #9910  
福岡高速 092-631-0123  
北九州高速 093-922-6812

ハイウェイテレホン  
(自動音声/24時間)

福岡高速 092-643-1300  
北九州高速 093-931-1400

■ 総務部 役員受付 TEL(092)631-3281  
総務課 TEL(092)631-3282  
FAX(092)631-3287

財務課 TEL(092)631-3289  
FAX(092)631-0128

■ 監査室 監査室 TEL(092)631-3295  
FAX(092)631-0128

■ 営業部 営業課 TEL(092)631-3284  
FAX(092)643-6228

営業管理課 TEL(092)631-3292  
FAX(092)631-0277

■ 企画部 企画課 TEL(092)631-3291  
計画課 TEL(092)631-3290  
技術管理課 TEL(092)631-3293  
FAX(092)643-7061

保全管理課 TEL(092)631-3285  
施設計画課 TEL(092)631-0153  
FAX(092)641-6260

■ 福岡事務所 設計調整課 TEL(092)631-0134  
駐車場専用 TEL(092)643-6114  
FAX(092)632-5591

沿道対策課 TEL(092)631-0148  
FAX(092)643-0972

用地課 TEL(092)631-0136  
FAX(092)631-6830

交通課 TEL(092)631-0123  
FAX(092)632-5559

保全課 TEL(092)631-3304  
施設課 TEL(092)631-6868  
FAX(092)643-2070

■ 北九州事務所 管理課 TEL(093)922-6813  
保全課 TEL(093)922-6815  
駐車場専用 TEL(093)922-7036  
FAX(093)922-6816

交通課 TEL(093)922-6812  
FAX(093)922-6829



福岡北九州高速道路公社

〒812-0055 福岡市東区東浜2丁目7番53号

<https://www.fk-tosikou.or.jp>

都市高速 検索